松原ときわクラブ
50周年記念誌

MATSUBARA TOKIWA CLUB 50th anniversary magazine

令和４年（2022）11 月 10 日　発行
松原ときわクラブ５０周年記念実行委員会

松原ときわクラブ　会長挨拶

創立 50 周年にあたり、関係各位をはじめ、多くの松原ときわクラブ会員の皆様に、まずお礼申し上げます。
松原ときわクラブ創立以来５０年半世紀にわたる長い歴史を刻み松原ときわクラブの発展にご尽力くださいました歴代会長をはじめとする役員並びに会員の皆様の熱意とご協力に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で定期総会は中止となり、議案の採否につきましては書面審査書を皆様から提出させていただきました。前会長から引き継ぎ、会員皆様のお手伝いをさせていただく事になりましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

松原ときわクラブのクラブ活動も新型コロナ感染症拡大で行政主催の行事をはじめ、すべての活動自粛を余儀なくされ皆様とお会いする機会が減少しました。コロナが怖くて自宅に引きこもりがちになり筋力低下等様々な事態が発生しているところから、現在落ち着きをみせている現状の中で感染症拡大の徹底した予防対策をおこない、クラブ活動の「カラオケ」「詩吟」「ペタンク」「輪投げ」に会員皆様の積極的な参加をお願い申し上げます。

創立 50 周年記念事業実行委員会を令和 3 年 5 月に発足、「式典全般」「料理取りまとめ」「記念品」「記念誌編集」「実行委員会会計」「文書取りまとめ広報」の担当別分担で記念行事を成功させようと実行委員会の皆様が一丸となり努力してまいりました。とりわけ「記念誌編集」を紹介してみますと、令和 3 年 6 月 16 日第一回の会議、会員の皆様から様々な資料提供を頂きました。7 月 8 月の猛暑・コロナ感染症拡大第 5 波の真只中にもかかわらず、アキシマエンシス（市立図書館）に足を運び、また編集委員同士 LINE の交換をし、自らの時間を使って情報を共通理解しました。令和 3 年 15 回の会議（延べ 225 時間）令和 4 年 18 回の会議（延べ 270 時間）で記念誌出版の運びとなりました。

まずは、ご自分健康管理の維持でたくさんの友達をつくり、いきがいのある毎日を送っていただきたいと思っています。会員の皆様には、創立 50 周年を機にますます積極的にクラブ活動に参加され、老人クラブの「健康」「友愛」「奉仕」活動を通じて「のばそう健康寿命」「増やそう仲間」「担う地域づくり」を合言葉に松原ときわクラブの普及を共に進めて行きたいと考えています。

菅井 孝

もくじ

はじめに
表紙 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
松原ときわクラブ会長挨拶
もくじ
松原ときわクラブの信条

お祝いの言葉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
昭島市老人クラブ連合会（市老連）　会長　田内 實　様
昭島市自治連合会 拝島駅前自治会　会長　下田 和弘 様
拝島駅前商店会 会長
拝島駅南口地区まちづくり委員会 委員長　岡部 恒男 様
松原ときわクラブ歴代会長（7 代～10 代）
社会福祉法人慈芳会　松原保育園　園長　山田 祥子 様

歴代会長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
歴代会長名簿
松原ときわクラブ 名称の変遷

松原ときわクラブ５０年の出来事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３
松原ときわクラブ会員数の変遷
松原ときわクラブが歩んだ時代の出来事

サークル紹介［カラオケ、輪投げ、詩吟、ペタンク］ ・・・・・・・ ２５

写真で綴る思い出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２７

記念投稿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３４

終わりに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４３
広告と謝辞と編集後記
令和４年（2022）会員の皆様
50 周年記念実行委員
裏表紙 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４６

松原ときわクラブの信条

1. 組織は 単なる老人の集まりであってはならない。

2. クラブ活動のあり方や 正しい目標を設定する。

3. 地域の該当者の参加を促すが 無理に参加を強制しない。

4. 役員には誰でもなれるように特定の人で固めてはならない。

5. クラブは 事業団ではないから特殊な団体の(政治・宗教)組織としてはならない。

6. クラブは喜憂を共にする友情団体でなければならない。

7. クラブ員は 教養を高め健康の維持増進につとめレクリエーションなど地域との結びつきを密にする。

お祝いのお言葉

昭島市老人クラブ連合会（市老連）　　会長 田内 實 様

設立 50 周年記念誌の発刊によせて

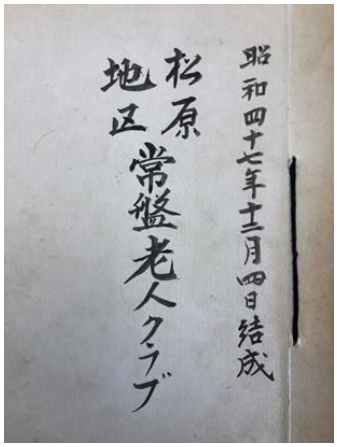
松原ときわクラブ設立 50 周年誠におめでとうございます。また、設立 50 周年記念誌が発刊されますことを心からお喜び申し上げます。

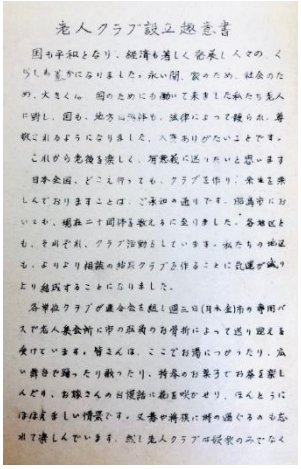
貴クラブは昭和 47 年 12 月に設立されて以来″半世紀″、50 年という輝かしい記念すべき年を迎えられました。ここに、長きにわたる関係各位の皆様のご苦労に対し、深く感謝申し上げますとともに心より敬意を表します。

この度、記念誌の発刊にあたり纏められた「50 年の出来事」を拝見させていただきましたが、その活動のレベルの高さに驚かされました。定期総会や会報の発行、スポーツ活動やサークル活動、旅行や研修会、更に加えて市老連イベントへの参加や自治会等地域団体との連携など、今日の昭島市老人クラブ連合会の発展と基礎づくりのために大きく寄与してくれて来たことを強く感じました。あらためて皆様のご尽力に感謝申し上げます。

わが国では高齢化が急速に進み、昭島市においても高齢化率はすでに 26%を超えており「超高齢社会」を突き進んでおります。高齢者が互いに支え合い、励まし合い、楽しみを共有し、″健康″で″生きがい″を実感できる社会を築き上げていくために、昭島市老連としても「健康」「友愛」「奉仕」の考えのもとに、様々な活動を展開しながら一層の努力をして行かなければならないと考えております。今後とも、伝統・実績ともに他の模範である「松原ときわクラブ」の皆様のお力添えをお願いいたします。

結びにあたり、貴クラブがこの 50 周年という大きな節目を契機に、さらに魅力あるクラブづくりを進められ、一層発展されますようご期待申し上げますとともに会員の皆さまのご健勝を心からお祈り申し上げます。





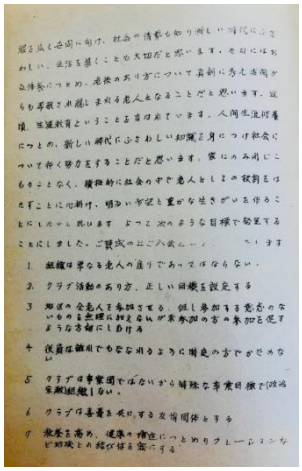
老人クラブ設立趣意書

国も平和となり、経済も著しく発展し人々の くらしも豊かになりました。永い間、貴のため、社会のため、大きくも 国のために働いて来ました私たち老人に対し、国も、地方自治体も、法律によって守られ、尊敬されるようになりました、大変ありがたいことです。

これから益々楽しく、有意義に送りたいと思います

日本全国、どこへ行っても、クラブを作り、楽しみを共有しておりますことは、ご承知の通りです。昭島市においても、組織二十周年を数えるに至りました。各地区とも、それぞれ、クラブ活動をしています。私たちの地区も、より良い相談の松原クラブを作ることに決議が成り立ち結成することになりました。

各単位クラブが連合会を組し、週五日(月木金)市の無料バスで老人集会所に市の福祉の方々所によって送り迎えを受けています。皆さんは、ここでお湯につかったり、楽しい舞踊を踊ったり歌ったり、将棋のお茶を楽しんだり、お嫁さんの自慢話に耳を傾かせり、ほんとうに和やかな楽しい情景です。又碁や将棋に時の過ぎるのも忘れて楽しんでいます。然し老人クラブは娯楽のみでなく



昭和 47(1972)年 12 月 4 日に結成　　老人クラブ設立趣意書（原文）　　創立 25 周年記念誌発行

昭島市自治連合会 拝島駅前自治会　**会長 下田 和弘 様**

松原ときわクラブ　結成５０周年記念誌の発刊を祝して

このたび、松原ときわクラブが結成５０周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴会は、戦前、戦中、戦後の厳しい時代を懸命に生きてこられた先輩達の御努力により昭和４７年に松原ときわクラブとして結成されました。以来、半世紀にわたり、生きがいづくりや健康づくりなど高齢者自身の生活を豊かにする活動や奉仕活動、友愛活動、環境美化、文化伝承、世代間交流などの地域を豊かにする社会活動に積極的に取り組まれ発展してこられました。これもひとえに、これまでご尽力された歴代会長、役員さんをはじめ会員各位の熱意と努力の賜であり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

また、毎年恒例の拝島駅前自治会主催の夏祭りでは、花づくりから始まり、万燈作り、辻かざり、ポスター掲示、神輿磨き、山車の組立て、祭り会場である松原三丁目児童遊園では、櫓づくり、花場づくり、テントの組立て設置、神輿組立て、電飾提灯の配線、紅白幕の飾り付け、葦簀張りと色々な仕事があり、その全ての仕事にご指導頂き感謝申し上げる所であります。

秋の１１ブロック親睦大運動会でも、輪投げ競技、競技役員等に参加と全面協力して頂き感謝申し上げる所であります。

冬の昭島市主催のブロック対抗スポーツ大会（インドアペタンク）においても、貴会ペタンクチームを主体としてＡチームを選出して頂き、他の自治会でＢチームを選出し、毎年上位の活躍、２０１３年の第１回大会では優勝しています。その後も１１ブロックは常に上位に君臨していましたが、２０２０年の新型コロナ感染症拡大で大会は中止しております。

私の両親もゲートボール、輪投げ、カラオケ等に参加させて頂き、この場をお借りし、改めまして御礼申し上げます。

貴会が創立５０周年を契機に「仲間づくり・健康づくり・生きがいづくり」を目的とする老人クラブ創設の原点に立ち返り「高齢者の世紀」にふさわしい魅力あるクラブづくりに向けて飛躍・発展されますようご祈念申し上げるとともに皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉と致します。

夏祭り会場：松原町三丁目児童遊園

拝島駅前商店会 **会長**

拝島駅南口地区まちづくり委員会 **委員長**　　**岡部 恒男 様**

松原ときわクラブ創立５０周年を祝して

創立５０周年おめでとうございます。
松原ときわクラブの誕生が昭和４７年、その６年後に拝島駅前商店会は設立されました。その頃より拝島駅前では自治会と商店会の方々を交えたまちづくりの活動が動き出そうとしていました。

「拝島駅前の街づくりを考える会」が昭和６０年に設立され、この街のまちづくりの基本となる考えを出していただきました。その中には松原ときわクラブの先人となる方々も加わっていただいたと思います。

この街では市街地再開発事業は行わない事を決め「拝島駅南口地区まちづくり協議会」が設立。「ぶらぶら歩きがここちよいまち・拝島」の理念を提案し、拝島駅南口地区の整備事業が進められました。またこの街には昭島市、福生市共に「拝島駅南口地区計画」が施行され、拝島駅南口地区まちづくり協議会からは「拝島駅南口地区まちづくりガイドライン」が作成され皆様に協力のお願いをしています。

その仕事をまちづくり協議会の後を受け、現在この地域の関係５団体（拝島駅前自治会・松原自治会・武蔵野町会・拝島駅前商店会・熊川武蔵野商栄会）から選出された委員により構成された「拝島駅南口地区まちづくり委員会」が行っています。

この街は現在もまちづくりが進行中です。目指す完成形の拝島駅南口は皆様の協力により出来上がるものと考えています。

地元に根付いた活動をされている松原ときわクラブの方々のご協力もいただきながらまちづくりが進む事を願っております。

結びに松原ときわクラブの益々の発展と、会員皆様のご多幸、ご健勝をご祈念し、お祝いの言葉といたします。

拝島駅南口 再開発待ち

拝島駅南口 地下駐輪場建設中

拝島駅南口 駅前ロータリー完成

第７代会長　松澤 五代子 様　　創立五十周年に寄せて

このたび松原ときわクラブ五十周年記念にあたり心よりお祝い申し上げます。

昭和四十七年十二月四日 故峰岸会長会員五十六名で産声をあげたとの事、大変なご苦労があったと思います。平成八年十一月に二十五周年記念のお祝いを当時の市老連会長、近隣の会長のご出席をいただき盛大に行いました。この行事予算を捻出するため何年計画で廃品回収を会員みんなで一生懸命行い目標額に達成した楽しい思い出もあります。この間、拝島駅前自治会からは毎年活動補助金をいただき、夏祭り、運動会、バス旅行等楽しく参加させていただき、心から感謝しております。市老連の諸行事も楽しく参加し、ペタンクの大会では三年連続で優勝して昭島代表となり都大会に参加しました。

私事になりますが、当クラブに入会して三十年になろうとしています。その間、当クラブ会長、市老連の副会長等を体験させていただきました。

とても忙しくはありましたが、大勢の方々との出会いがあり昭島代表の方々の付き添いで行きますので色々な場所の見学も出来まして大変有意義な 人生勉強にもなりました。

どうぞ皆様、これからも色々な行事に率先して参加し、いい人間関係を作っていかれたらいかがでしょうか、人は財産と云います。

みんなで協力し合って老後を楽しみましょう。

第８代会長　小室 博 様　　10 年前からときわクラブとともに

西暦 2011 年、(平成 23 年)松原ときわクラブに入会、副会長に選任され 2013 年(平成 25 年)に会長 (一期 2 年)、2015 年(平成 27 年)から 2021 年(令和 3 年)まで副会長として 、約 10 年間松原ときわクラブの役員を行ってまいりました。

１．2011 年～2012 年に学童パトロールで一緒に活動してきた仲間の方々に松原ときわクラブに入会して頂き、市老連からも賞状を頂きました。

２．会長時代の 2013～2015 年は、健康・友愛・奉仕の活動を中心に市老連の春の歩け歩け大会 (花見を兼ねて)、秋の大運動会、輪投げ大会、ペタンク大会、(何回も優勝して都老連の大会にも出場)、親睦一泊旅行、友愛映画会等に多数の会員の方々と参加して楽しいひとときを過ごしました。

３．松原ときわクラブの活動としては、年三回の誕生日会、新年会、日帰りバス旅行、ペタンク、輪投げ、詩吟、カラオケ等で多くの会員の皆さんと共に楽しいひとときをすごしました。

４．ここ 2 年間はコロナ渦ですべての行事が中止となり、ストレスが溜まる毎日です。一日も早くコロナが下火になり、以前のような行事ができるよう心から祈っております。

第 9 代会長　村上 政美 様　　地域に育てられて

鳥海山麓の村で生を受けた自分でしたが拝島の住民となって約五十年がたちました。サラリーマンの頃と少し違う点は、地域のお祭り・文化祭・運動会などに余暇を費やす比重が増えたことにありました。それらはマイナスではなく退屈な日々を癒やす起爆剤にもなりえました。最初から 成果を目標にせず「当たって砕けろ」のいわば軽薄さが八十才過ぎの高齢者を支えてくれたものと感謝しています。
短歌 5 首は、拝島駅前自治会や松原ときわクラブの会員の期間に書き留めた短歌であります。

☆ 言葉ふたつ「たべる」と「ねる」を理解して 猫との日々は おだやかに過ぐ

☆ 老衰し 飲食ならず 半月後 木枯らし吹く日に わが猫 逝きぬ

☆ 残り物 ごった煮にして リゾットと 言い張る妻の したり顔好し

☆ 吾れ老いて 免許返納 決断し 離別の運転 夕暮れの道

☆ 歳を 経るごとに故郷の 懐かしく 毎月ネットの 広報待っ

第 10 代会長　保科 紀一 様　　私と松原ときわクラブ

昭和 20 年代のこのあたりは 松林、桑畑、 梅林などの農村風景で、家の脇には拝島分水の綺麗な水が流れ、夏はほたるが飛びかい、川では洗濯、野菜洗い等生活用水として利用され自然に恵まれた所でした。分水は暗渠（あんきょ）となり生活道路と変化しましたが、人通りも少なくのんびり、穏やかな地域でした、今とは格段の違いです。

様々な人々とめぐりあい・助けられ・ここで 80 年生きてきました。退職前の数年は自治会の会計をおおせつかり地域デビューとなりました。思い出に残っていることはお祭りの会場にワープロを持って、花場の仕事をしていた時「昔と随分会計のやり方が違う」とびっくりされたことです。その後のパソコンは 「一太郎や花子」の時代でした。ときわクラブ加入も以前から勧められていましたが、私には別にやりたいことがあったため先延ばし先延ばししていたら退職後 10 年が過ぎてしまいました。70 歳が近づきやっと入会する気になり始めました。入会すると早々役が廻ってきて、また会計を務めることになりました。会計は一人仕事なので自分には合っていると思っていましたが 6 年目を過ぎる頃、会長の都合が悪く退任したいという申し出があり、役員会でも色々と話し合い皆さんの意見を聞くことになりました。

次ページへ続く

前ページより

手を挙げる人もおらず、ある役員からは「休会にしたらどうか」と言う意見も出ました。今まで先輩方が一生懸命頑張って続けてきたのに、松原ときわクラブをここで休会にすることは出来ないとその時は正義感のようなものが湧き上がり仕方なく「会長」を引き受ける事になりました。自分は会計の方が向いていると思いながら...。

会長の仕事なんて そんなに忙しい事はないだろうと思っていたのですが「市老連の行事・西部地区の行事」と次から次へと 結構出かけることが多く一寸当てがはずれてしまいました。忙しい4年間でしたが会員の皆様のご協力とご支援のおかげで無事に4年間を終えることができました。

様々な諸行事へもたくさん参加してくださり本当にありがとうございました。

最後に コロナ感染症予防の為に楽しみにしていたイベントもあいついで中止となり、がっかりでしたが、マスクや商品券の配布など色々と考えて活動を頑張って下さった役員の皆様にも大変感謝しています。創立50周年おめでとうございます。増々のご発展を祈っております。

参考資料より

昭島市内の町名

左図のように、**江戸時代からの九つの村落名（郷地・福島・築地・中神・宮沢・大神・上川原・田中・拝島）**をそのまま使用しているようです。

昭島市誕生（昭和２９年）以降

都心に近いことから住環境が変化し
町（字）や道路の境界を整理して

昭和４０年に、玉川町・朝日町・昭和町が誕生し、これらの新しい街の誕生で旧町が分断された形になりました。

社会福祉法人慈芳会　松原保育園　園長　山田 祥子 様

松原ときわクラブ創立５０周年を祝して

この度松原ときわクラブが、創立５０周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

私ども松原保育園が貴クラブの皆様と本格的に交流をさせていただくようになったのは、平成 18 年東京都児童福祉施設に関する条例により保育所地域活動事業の一環として活動するようになった時からです。

貴会員の皆様には世代間交流として、春・秋の園芸作業、芋掘りなどをはじめ季節の行事の際に園にお越しいただき、園児との交流を深めていただいています。

中でも餅つきは園児や職員にとって印象深い行事の一つとなっています。ここ数年は新型コロナウイルスの影響もあり行うことができませんが、当日は 7～8 名の方にお越しいただき、釜戸の組み立てや火起こし、園児が持つ杵を支えていただきながら「よいしょ！よいしょ！」のかけ声と共に餅つきが始まります。つき上がったお餅を手際よくちぎり、一口大に丸め、きな粉や醤油にまぶしてできあがりです。

つきたてのお餅をいただき園児達の笑顔が溢れる幸せなひとときであると共に、私たち職員も会員の方々のお力に助けられています。

核家族化が進み、家庭内で高齢者と関わる機会も少なくなっている中で、地域の高齢者の方との交流を通し貴重な経験をさせていただけることに大変感謝しています。

今後も松原ときわクラブの活動の更なるご活躍とご発展、並びに皆様方のご健勝を心よりご祈願しお祝いの言葉とさせていただきます。

歴代会長

松原ときわクラブ　歴代会長名簿

2021.9.03作成

会長		ふりがな 氏名（敬称略）	自		至		備考
			和暦	西暦	和暦	西暦	
初代会長	故	みねぎし　ちはる 峰岸　主治	昭和47年	1972	昭和57年	1982	
第2代会長	故	かとう　ぜんいち 加藤　善一	昭和58年	1983	平成5年	1993	
第3代会長	故	やまもと　りくろう 山本　陸郎	平成6年	1994	平成12年	2000	
第4代会長	故	ほし　はじめ 星　一	平成13年	2001	平成15年	2003	会長を2年で退任
会長代行		こばやし　しょうぶ 小林　昭父	平成16年	2004	平成16年	2004	正会長を選任せず 会長代行で運営。
第5代会長 代行		こばやし　しょうぶ 小林　昭父	平成17年	2005	平成17年	2005	正会長を選任せず 会長代行で運営。
第6代会長 前期代行	故	なかむら　ちかぞう 中村　允三	平成18年	2006	平成18年	2006	正会長を選任せず 会長代行を前期と後期に 分けて運営。
後期代行		まつざわ　さよこ 松澤　五代子					
第7代会長		まつざわ　さよこ 松澤　五代子	平成19年	2007	平成24年	2012	
第8代会長		こむろ　ひろし 小室　博	平成25年	2013	平成26年	2014	
第9代会長		むらかみ　まさみ 村上　政美	平成27年	2015	平成28年	2016	
第10代会長		ほしな　きいち 保科　紀一	平成29年	2017	令和2年	2020	
第11代会長		すがい　たかし 菅井　孝	令和3年	2021			

元資料は、年度総会資料より在任期間を基準に作成しています。

松原ときわクラブ 名称の変遷

昭和 47(1972)年 12 月　「松原地区常盤老人クラブ」の名称で発足
昭和 59(1984)年 04 月　名称を「松原地区ときわ老人クラブ」に改名
昭和 63(1988)年 04 月　名称を「松原ときわクラブ」に改名、現在に至る
平成 08(1996)年 11 月　創立 25 周年記念誌を発行

松原ときわクラブ　５０年の出来事

松原ときわクラブは、昭和４７年（１９７２年）12 月に発足します。
本誌は、発足当時からの定期総会資料や現存している各種資料から当時の出来事を抜粋してまとめました。活動年で記載内容に差がありますが、活動停滞ではなく調べ上げる資料が不足したためです。また、内容は概要を記載している事を予めご了解願います。
50 年間の会員数推移や、わが町の変化、世の中の動きも纏めています。
本章の基になった定期総会資料はそのまま残していますのでそちらもご覧ください。

活動は年度単位として、４月から翌年３月までを１年毎に纏めて記載しています。

以下の☆印項目は、毎年実施されている項目であり、次のページから記載している年別の項目には項目や詳細内容は割愛しています。クラブ活動等の写真でご覧ください。

☆ 役員月例会
☆ 会報発行（1 回/月）
☆ 市老連主催イベントへの参加
☆ 拝島駅前自治会イベントへの参加
☆ 合同誕生会・新年会
☆ 社会奉仕活動（町内清掃、餅つき、他）
☆ 友愛活動（訪問、声掛け等）
☆ 健康活動・レクリエーション活動
（ゲートボール、歩け歩け大会、ペタンク、
輪投げ大会、運動会 等）
☆ サークル活動
（会員図書回覧、カラオケ講習、民謡踊り
大正琴、ペン習字、詩吟、映画鑑賞
交通安全講習、地震、火災講習 等）
☆ 保育園行事
（七夕、トマトの苗植え付け、芋苗植え付と
生育観察、芋掘り、敬老のつどい
園芸作業、運動会、クリスマス
餅つき 等）
☆ その他（合同慰霊祭、他）

広報 あきしま

47年10月9日 No. 203

昭島市役所
昭島市昭和町4－7－21
本　　庁 (0425) 44－5111
東部出張所　41－0759
西部出張所　41－1064
水 道 部　43－6111

皇太子殿下ご夫妻
老人ホームをご慰問

9月27日、皇太子殿下と美智子妃殿下が拝島町にある養護老人ホーム「偕生園」と、同所に併設されている特別養護老人ホーム「愛全園」をご慰問されました。
午前11時半、同園にお着きになつたご夫妻は、偕生園の食堂に集まつたおとしよりたちに、お気軽におことばをかけられ、そのあと、ねたきりの老人の部屋や機能回復訓練室にもお回りになり「どうぞお元気で」などと励まされました。やさしいおことばにおとしよりたちは、ひときわ感激のようすでした。

広報 あきしま　— 1 —

東京都昭島市に初めて老人ホームが完成
1972 年 9 月には
当時の皇太子殿下ご夫妻が昭島を慰問されています。
（現、上皇上皇后両陛下）
松原ときわクラブ発足年でした。

昭和４７年（１９７２年）　12 月 4 日発足
昭和４７年１２月～昭和４８年３月迄、会員５６名　会費月額５０円でスタート。
翌月の１月には新年会を開催。

昭和４８年（１９７３年）　第１回定期総会　青梅市駒木野保険センターで開催。
市老連旅行　石和温泉。

昭和４９年（１９７４年）　第２回定期総会

昭和５０年（１９７５年）　第３回定期総会
７月会報（第１号）を発行。日帰り旅行は丹波山。

昭和５１年（１９７６年）　第４回定期総会　　山茶屋で開催。
役員の名称を世話人から連絡係に変更。市老連秋の一泊旅行日光川治温泉に参加。
６月老人クラブのあり方について昭島市と懇談。親睦旅行伊豆熱川温泉で実施。
市老連女子部で古着を利用して、雑巾やおしめを作り市内の施設に寄贈。
第２日曜日午後交歓会開催決定。おしゃべりや音楽鑑賞等。

昭和５２年（１９７７年）　第５回定期総会　創立５周年記念品を全員に配布。
８月納涼日帰り旅行で埼玉県黒山温泉へ。役員の名称を連絡係から世話係に戻す。
新年会は青梅簡保センターで実施。

昭和５３年（１９７８年）　第６回定期総会　親睦旅行兼ね千葉県白浜町ホテル眺洋にて。
歩け歩け大会（滝山山頂）に参加。昭島市・餅つき大会に参加。
親睦旅行に３２名参加。１２月１７日の餅つき会・忘年会に３２名参加。

昭和５４年（１９７９年）　第７回定期総会
昭島市新生活推進協議会より町内清掃で表彰。
松原地区常盤老人クラブ親睦旅行　西伊豆土肥温泉と長野県丸子町大塩温泉。
ゲートボール活動開始、用具購入練習、審判講習会参加。
市老連２０周年記念大運動会参加。

昭和５５年（１９８０年）　第８回定期総会
会員増で旧３組は４組になり以降１組ずつずれる。

昭和５６年（１９８１年）　第９回定期総会　役員名称変更　世話係から幹事。
春のレクリエーション河口湖健康ランドホテル。学童保育餅つき会大会。
親睦旅行は草津温泉。資源回収を行う。

昭和５７年（１９８２年）　第１０回定期総会

発足１０周年記念式典を実施

（物故会員の慰霊祭・祝宴・記念品として諺・格言集を作成配布）

奥多摩山荘方面へ散策を実施　参加２３名。１月カラオケ購入。

昭和５８年（１９８３年）　第 １１回定期総会

研修旅行は伊東市。親睦旅行は上山田温泉。

会員研修　奥多摩方面吉川英治記念館、玉堂美術館、簡保保養センター等（バス）。

昭和５９年（１９８４年）　第１２回定期総会

名称「松原地区ときわ老人クラブ」に変更

カラオケの準備、昭島音頭練習会開始。親睦旅行は軽井沢方面。

研修旅行は群馬館林方面。

新あきしま音頭ダンシングアキシマ普及講習会公民館で開催。

町内清掃を今後毎月第３日曜日に実施。駅周辺放置自転車取締りパトロールに協力。

昭和６０年（１９８５年）　第１３回定期総会

合同誕生会開始３か月毎開催。ときわだより発行。小平薬草園見学。新春初詣成田山

昭和６１年（１９８６年）　第１４回定期総会

昭和６２年（１９８７年）　第１５回定期総会

輪投げ用具購入。

ゲートボール希望者約２０名、練習場所は山茶屋横の小公園（松原町三丁目児童遊園）

昭和６３年（１９８８年）　第１６回定期総会　名称「松原ときわクラブ」に変更

カラオケ同好会発足し、月２回活動開始。

松原保育園の諸行事【七夕祭・運動会・芋掘り・餅つき】に参加。

昭和６４年、平成元年（１９８９年）　第１７回定期総会

元号が昭和から平成になる

（昭和 64 年 1 月 7 日天皇崩御、1 月 8 日皇太子明仁親王が天皇に即位）

小荷田寿会とカラオケ大会開催。

平成　２年（１９９０年）　第１８回定期総会

拝島駅前放置自転車クリーンキャンペーンに多数参加

平成　３年（１９９１年）　第１９回定期総会

市老連芸能大会に民謡踊りで参加。

平成　４年（１９９２年）　第２０回定期総会
平成　５年（１９９３年）　第２１回定期総会
市老連女性委員会結成　正・大久保フサ子さん、副・松澤五代子さん。
市老連３５周年で加藤善一会長表彰。
合同誕生会、11 月交通安全講話等（昭島警察署交通課）。
3 月地震・火災等講話（立川消防署）、松原保育園行事に参加。会員図書回覧開始。

平成　６年（１９９４年）　第２２回定期総会
給食センター、昭和ドレス工場見学。
松原保育園行事の七夕、芋ほり、運動会等に参加。
生きがい活動で、図書回覧、カラオケ講習、民謡踊り、交通安全講習、地震、火災講習、市老連研修会等実施。健康活動やレクリエーション活動実施。

平成　７年（１９９５年）　第２３回定期総会
立川防災会館の見学・体験・学習。
市老連西部地区第１回輪投げ大会で団体優勝。
市老連、ミニゴルフ大会で松澤弘さん優勝。
ペン習字教室開校（指導者　星一さん）。石和温泉一泊旅行。

平成　８年（１９９６年）　第２４回定期総会　**創立 25 周年記念式典・祝賀会を実施**
市老連ミニゴルフ大会で松澤弘さん優勝。春日居温泉一泊旅行（天宝）。
第４回いきいき健康スポーツ大会グラウンドゴルフ大会で松澤弘さん優勝。

平成　９年（１９９７年）　第２５回定期総会
ミニゴルフ大会で松澤弘さん優勝２回。
西部地区輪投げ大会で大久保フサ子さん個人優勝。

平成１０年（１９９８年）　第２６回定期総会
親睦旅行（湯田中温泉）。　親睦旅行は河口湖健康センター。
ミニゴルフ大会で優勝。ミニゴルフ大会で松澤弘さん優勝、中村充三さん５位入賞。
この年から自治会のお祭りで、お菓子類の販売を始める。

平成１１年（１９９９年）　第２７回定期総会
ミニゴルフ大会で松澤弘さん３位入賞。ブロックゲートボール大会３位入賞。
日帰り旅行は千葉の民俗資料館等。　親睦旅行は河口湖健康センター。

平成１２年（２０００年）　第２８回定期総会
清掃センターと汚水処理場の見学。女性委員会で三宅島災害助け合い募金協力。
新年会は五日市の山水。

平成１３年（２００１年）　第２９回定期総会

西部地区輪投げ大会Ｂチーム３位入賞。新年会は青梅「梅の里久兵衛」。

平成１４年（２００２年）　第３０回定期総会

平成１５年（２００３年）　第３１回定期総会

平成１６年（２００４年）　第３２回定期総会

平成１７年（２００５年）　第３３回定期総会

日帰り旅行は、城ヶ島に３３名参加。　日帰り旅行で小菅の湯に２４名参加。
西部地区輪投げ大会　中村美津江さん３位入賞。ミニゴルフ大会で松澤弘さん優勝。
市老連芸能大会で、細谷起美さんがお吉物語を披露。新年会２９名参加。

平成１８年（２００６年）　第３４回定期総会

１１ブロック球技大会の輪投げで３位入賞。
市老連親睦旅行は黒部ダムと信州の旅。日帰り旅行は横須賀・城ヶ島の旅。
第２回合同誕生会のアトラクションで、星一さんのトークショーと岩佐二郎さんの日本舞踊、小澤智さんの尺八で盛り上がる。新年会は３５名参加。

平成１９年（２００７年）　第３５回定期総会

折り紙クラブ発足、指導は大野榮三さん。
春季ミニゴルフ大会で松澤五代子さん３位入賞。佐渡おけさ講習会開催。

平成２０年（２００８年）　第３６回定期総会

１１ブロックスポーツ大会の輪投げで優勝。　春季ミニゴルフ大会で松澤弘さん優勝。
日帰り旅行はスパ昭島でのんびり宴会。新年会３４名参加。

平成２１年（２００９年）　第３７回定期総会

松澤会長市老連常任理事事務局次長を務める。ブロックインドアペタンク大会優勝。
ゲートボール大会にて優勝、東京都４７市区町村大会で４位に入賞。
市老連ミニゴルフ大会で大野榮三さん３位入賞。
新年会３６名出席。市老連展覧会２３名参加。

平成２２年（２０１０年）　第３８回定期総会

第１回寸劇「瞼の母・番場の忠太郎」公演、脚本主演は青山勝さん、出演は関口留吉さん他５名。ミニゴルフ大会は松澤弘さん３位、関口留吉さん５位入賞。

平成２３年（２０１１年）　第３９回定期総会

拝島駅自由通路に会員の作品を展示。ペタンク大会初参加でＡチームが優勝。
ミニゴルフ大会で大野榮三さん２位入賞。市老連親睦旅行８名参加。
ゴルフ大会で小室博さん５位入賞。
市老連芸能大会１組網野和子さん、２組岩佐二郎さん佐渡おけさ披露。
第１回誕生会アトラクションで、青山勝さんの脚本演出で浪曲寸劇ときわの石松公演。
昭島生活実習所夏祭で岩佐二郎さんが踊りを披露。
日帰り旅行が復活、霧ヶ峰高原２６名参加。新年会３７名参加。

平成２４年（２０１２年）　第４０回定期総会

拝島駅自由通路にて作品展実施。
ペタンク大会Ａチーム優勝Ｃチーム３位Ｂチーム４位入賞。
昭島市チャレンジデー参加。第３ブロックペタンク大会Ｃチーム優勝。インドアペタンク交流会３位入賞。５組根津照代さん４３Kmかち歩きに２０回完歩達成。
東老連ペタンク大会５位入賞敢闘賞授賞。

平成２５年（２０１３年）　第４１回定期総会

松澤前会長、市老連理事６年その内４年常任理事の業績により市老連会長及び
市長より感謝状贈呈。
拝島駅自由通路作品展。昭島市チャレンジデー会員参加率８５.3%
ペタンク大会Ｃチーム優勝、Ｄチーム準優勝。市老連作品展出品。新年会45名参加。
日帰りバス旅行２９名参加。

平成２６年（２０１４年）　第４２回定期総会

友愛の会発足。市老連会員増強運動。社会奉仕の日松原町三丁目児童遊園清掃参加。

平成２７年（２０１５年）　第４３回定期総会

ミニゴルフ大会で湯淺雄相さん優勝。輪投げ大会チーム６位入賞、
大野榮三さん個人優勝。日帰り旅行は、伊豆韮山反射炉等。
インドアペタンクブロック大会３位６名参加。高齢者作品展２０名参加

平成２８年（２０１６年）　第４４回定期総会

１組の古谷雅道さん新春駅伝大会に参加、チームは壮年の部６位入賞。
西部日帰り旅行（焼津、掛川、大井川方面）、カラオケ発表会（鈴木こう）
ペタンク大会１０名　Ｂチーム優勝。市老連ミニゴルフ大会６名参加。
凧作り教室５名参加。新年会３０名。高齢者作品展１４名参加。

平成２９年（２０１７年）　第４５回定期総会　凧作り教室５名参加。
高齢者作品展。西部日帰り旅行（横須賀、三浦半島）。
市老連芸能祭（詩吟サークル）、カラオケ発表会（石塚富枝）。

平成３０年（２０１８年）　第４６回定期総会　高齢者作品展１４名参加。
友愛の会、市老連旅行（伊豆半島めぐり、白浜温泉、下田海中公園他）。
歌声喫茶、カラオケ発表会（鈴木こう）

平成３１年、令和元年（２０１９年）　第４７回定期総会
元号が平成から令和になる
（平成 31 年 4 月 31 日天皇退位、5 月 1 日皇太子徳仁親王が天皇に即位）
市老連 60 周年記念祝賀会、市老連旅行（長野立山プリンスホテル、黒部ダム）
市老連歌声喫茶開催。作品展。カラオケ発表会（保科もゝ子）。
西部日帰り旅行（房総半島アクアライン、房総方面）
西部地区第一回芸能大会（保科会長）

令和　２年（２０２０年）　第４８回定期総会
新型コロナウイルス蔓延の為総会は書面で賛否を確認。
マスク不足となり全会員にマスク配付。お誕生日祝い商品券配付。ペタンク大会参加。
西部地区輪投げ大会１４名参加。保育園児ふれあい２名参加。

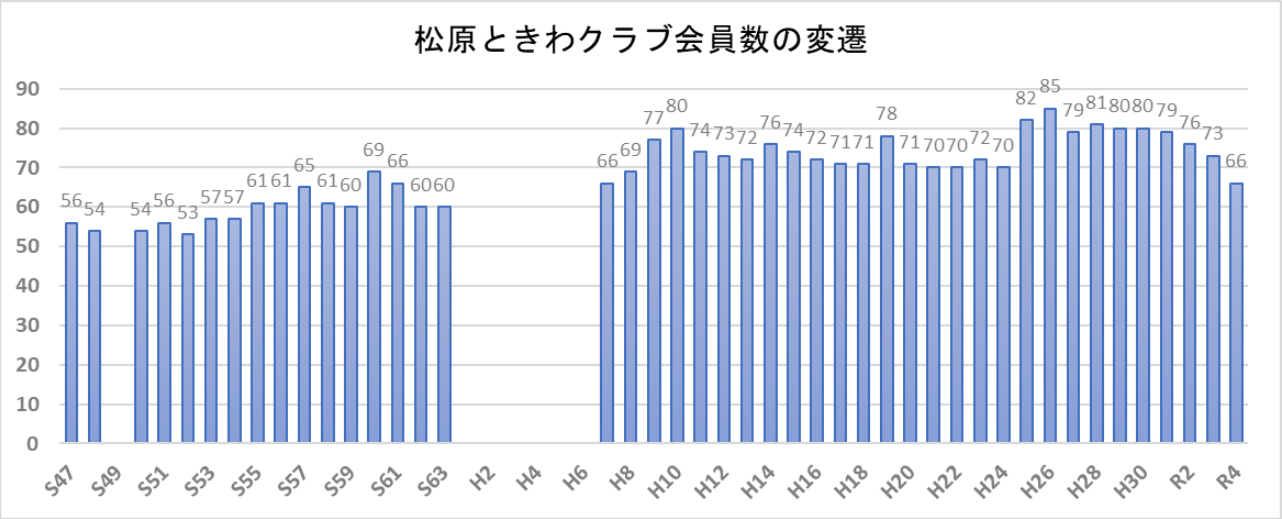
令和　３年（２０２１年）　第４９回定期総会
新型コロナウイルス感染症蔓延の為総会は書面で賛否を確認。
お誕生日会に商品券配付。コロナ蔓延防止対策として全会員にマスク配付。
西部ペタンク大会、輪投げ大会。保育園児ふれあい３名参加。

令和　４年（２０２２年）　第５０回定期総会　創立５０周年を祝う。
新型コロナウイルス感染症蔓延の為総会は書面で賛否を確認。
昭和公園での花見を開催（アルコールなし）

2022. 4. 01 花見

2022. 5. 26 芋苗うえつけ

会員数の推移



注意：記載のない年度は会員記録が残っていませんでした。

コラム　[拝島の地名の由来]

実はこの**拝島**、かなり**歴史と由緒がある名前**です。

- 西暦 952 年、この地域で洪水が発生した
- その際、多摩川上流の日原村にある日原鍾乳洞に安置されている大日如来像が流されてしまった
- 大日如来像は多摩川を流され玉川花井の島（大神の中州）に座礁
- 打ち上げられた像が、村人に堂を作られそこに安置される
- 以後、その尊像が拝まれることとなった

なんと、**拝島の歴史は 1000 年以上も前に遡**ります。
日原村とは奥多摩にある村で、日原鍾乳洞は今でも奥多摩の観光名所となっています。そこに安置されていた如来像が多摩川に流され、今の拝島付近の多摩川中州まで流されてきたというわけです。

「拝(拜)」とは、その如来像を拝む。
「島」とは、その如来像がたどり着いた中州のことを指しています。

引用：http://fuumme/ 歴史風味　「拝島の地名の由来を簡単に解説」より
最終更新：2021 年 2 月記事

松原ときわクラブが歩んだ時代の出来事

西暦	和暦	出来事　（青字：ときわクラブ関連　黒字：世の中　♪：ヒット曲）
1972	S47	12 月松原地区常盤老人クラブ結成 札幌オリンピック冬季大会開催・あさま山荘事件・上野動物園パンダ公開 ♪：女の道・喝采
1973	S48	石油ショックによる物価急上昇・輪島が横綱昇進 ♪；夜空・そして神戸
1974	S49	2 月ときわ相互銀行拝島支店開設 長嶋茂雄現役引退・ガッツ石松が世界チャンピョン ♪：なみだの操・襟裳岬
1975	S50	沖縄国際海洋博覧会開催・田部井淳子エヴェレスト女性初登頂 ♪：心のこり・シクラメンのかほり
1976	S51	ロッキード事件・クロネコヤマトの宅急便開業 ソ連の最新鋭戦闘機『MiG-25』函館に強行着陸（ベレンコ中尉亡命事件） ♪：およげたいやきくん・北の宿から
1977	S52	王貞治が国民栄誉賞第 1 号受賞・気象衛星「ひまわり」打ち上げ ♪：勝手にしやがれ・青春時代
1978	S53	8 月市立拝島中学校ハンドボール部全国優勝 「サンシャイン 60」が開館・新東京国際空港（成田）開港 ♪：UFO・カナダからの手紙
1979	S54	4 月拝島駅前商店会設立・5 月多摩中央信用金庫拝島支店開設 10 月シャルマンコーポ拝島 51 戸入居開始自治会に加入し 6 区となる インベーダーゲーム大流行・「ドラえもん」放送開始 ♪：魅せられて・夢追い酒
1980	S55	日本の自動車生産台数が世界第 1 位・山口百恵と三浦友和が結婚 ♪：贈る言葉・雨の慕情
1981	S56	スペースシャトル「コロンビア」打ち上げ・秋田空港開港 ♪：ルビーの指輪・奥飛騨慕情
1982	S57	東北新幹線、上越新幹線開業・「笑っていいとも」が放送開始 ♪：北酒場・チャコの海岸物語
1983	S58	東京ディズニーランド開園・任天堂が「ファミコン」を発売 ♪：矢切の渡し・さざんかの宿
1984	S59	6 月昭島郵便局昭和町より新築局舎に移転（松原町 1 丁目） 1 万円（福沢諭吉）5 千円（新渡戸稲造）千円（夏目漱石）新札発行 ♪：長良川艶歌・涙のリクエスト

1985	S60	つくば万博開催・日本航空 123 便墜落事故（御巣鷹の尾根） ♪：恋に落ちて・愛人
1986	S61	伊豆大島の三原山噴火・チャールズ皇太子とダイアナ妃来日 ＣＤがＬＰレコードの国内生産枚数を追越す ♪：時の流れに身をまかせ
1987	S62	3 月東建ニューハイツ拝島 209 戸入居開始・4 月昭島市人口が 10 万人突破 5 月拝島駅前マーチングバンド誕生 国鉄が分割・民営化され JR7 社が発足・石原裕次郎が死去 ♪：命くれない・雪国
1988	S63	東建ニューハイツ拝島が自治会に加入し 7 区となる 青梅線に「青梅特別快速」運転開始 青函トンネル開通・東京ドーム完成 ♪：乾杯・パラダイス銀河
1989	S64 H1	1 月ときわ相互銀行が名称を変更し東日本銀行となる 昭和天皇崩御、皇太子明仁親王 天皇に即位・横浜ベーブリッジ開通 ♪：とんぼ・ダイヤモンド
1990	H2	4 月昭島児童学園が全面改装し昭島生活実習所となる バブル経済崩壊で株が暴落・第一回大学入試センター試験実施 ♪：おどるポンポコリン・恋歌綴り
1991	H3	1 月ＪＲ拝島駅青梅線ホーム、発泡スチロールを利用して一夜で拡幅 7 月お神輿費用募金に 493 名が賛同・8 月お神輿 2 号完成（現大人神輿） 東京都庁が新宿に移転・雲仙普賢岳で大火砕流発生 ♪：愛は勝つ・流恋草
1992	H4	日本人宇宙飛行士、毛利衛さんが宇宙へ出発・学校の週 5 日制が始まる ♪：君がいるだけで・こころ酒
1993	H5	皇太子、雅子さま御成婚・サッカーＪリーグ開幕 ♪：無言坂・心凍らせて
1994	H6	日本人初の女性宇宙飛行士、向井千秋さん宇宙へ出発 ♪：イノセントワールド・花のワルツ
1995	H7	3 月江戸街道松原 4 丁目交差点からエコス西側区間工事完了 阪神淡路大震災・地下鉄サリン事件・野茂英雄が大リーグで新人王獲得 ♪：ロビンソン・捨てられて
1996	H8	10 月警視庁昭島警察署の新庁舎完成（上川原 1 丁目） 羽生善治さんが史上初、将棋のタイトル七冠独占 ♪：空も飛べるはず・愛の言霊
1997	H9	3 月昭島市役所新庁舎竣工（田中町 1 丁目） 8 月昭島生活実習所と災害時相互応援協定締結 消費税率５％に引き上げ・東京湾アクアライン開通 ♪：硝子の少年

1998	H10	12 月昭島消防署が新設（松原町 1 丁目） 第 18 回オリンピック冬季競技大会（1998/長野）、パラリンピック開催 明石海峡大橋が開通 ♪：夜空ノムコウ
1999	H11	石原慎太郎氏が東京都知事に・上信越自動車道が全線開通 ♪：だんご 3 兄弟
2000	H12	6 月拝島駅前交番を移設した松原町交番の開所式 新紙幣２０００円札発行。三宅島噴火で全島民避難。 世間はＹ２Ｋ問題で緊急事態に備えたが問題なかった ♪：TUNAMI・桜坂
2001	H13	1 月エコス拝島店開店 ２１世紀を迎えた 東京ディズニーシー開園・小泉内閣発足・アメリカ同時多発テロ事件
2002	H14	5 月なんでも掲示板（総会資料付録）開始・6 月自治会館改修（屋根・外壁） 8 月拝島駅前お祭り音頭発表・10 月拝島第三小学校 40 周年式典 小柴昌俊氏ノーベル物理学賞、田中耕一氏ノーベル化学賞受賞 ♪：ワダツミの木・大きな古時計
2003	H15	8 月山車新調、夏祭りでお披露目・10 月家庭ごみ戸別収集開始 10 月第 11 ブロック親睦大運動会当番町会で総合優勝 10 月イトーヨーカドー拝島店　新店開店 10 月市による拝島駅南口広場・道路整備事業説明会 小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ・六本木ヒルズがグランドオープン ♪：世界に一つだけの花・さくら(独唱)
2004	H16	新潟県中越地震発生・新紙幣発行(福沢諭吉、樋口一葉、野口英世) ♪：瞳をとじて・番場の忠太郎
2005	H17	8 月拝島駅前お祭り音頭振付け、夏祭りでお披露目 9 月東京西徳洲会病院診療開始 日本プロ野球セパ交流戦開幕・JR 福知山線脱線事故 ♪：青春アミーゴ・面影の都
2006	H18	8 月拝島駅舎新築工事開始・10 月拝島駅前学童パトロールチーム結成 第 1 回ワールドベースボールクラッシック開催 ♪：粉雪・純恋歌
2007	H19	1 月拝島第三小学校 PTA から学童パトロールチームに感謝状 2 月マーチングバンド 20 周年、昭島市青少年善行表彰 7 月拝島駅南口駅前地区まちづくり協議会発足 8 月拝島駅（舎内）南北通路仮開通、エキナカ営業開始 第 1 回東京マラソン開催・赤ちゃんポストの設置を認可 ♪：千の風になって・蕾(つぼみ)

2008	H20	3 月拝島駅南北通路完成、南口階段ほか未完成 4 月日神パレステージ拝島が自治会に加入し 8 区となる 10 月第 11 ブロック親睦大運動会当番町会、準優勝 東京地下鉄副都心線池袋-渋谷開業 ♪：風の向こうへ・羞恥心
2009	H21	5 月日本一長い踏切「市道北 143 号踏切」約 130m閉鎖 6 月自治連 11 ブロック青色パトロール隊発会式 国際宇宙ステーションの実験棟「きぼう」が完成 ♪：浪曲一代
2010	H22	拝島駅南北通路完成開通・6 月拝島駅前自治会 60 周年記念式典 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還・東北新幹線八戸-新青森開通 ♪：また君に恋してる
2011	H23	東日本大震災発生・女子サッカーワールドカップなでしこジャパン優勝 ♪：マル・マル・モリ・モリ
2012	H24	東京スカイツリー開業・山中伸弥氏教授ノーベル生理学・医学賞受賞
2013	H25	富士山が世界文化遺産に登録される ♪：恋するフォーチュンクッキー
2014	H26	拝島駅南口地下自転車等、駐輪場暫定使用開始 富岡製糸場が世界文化遺産に登録される
2015	H27	北陸新幹線開業・大村智氏ノーベル医学・生理学賞受賞
2016	H28	3 月拝島駅南口ロータリー完成・拝島駅前江戸街道開通 6 月駅前通り東側（拝島分水通り）完成 熊本地震発生・新宿駅南口にバスタ新宿が開業
2017	H29	藤井四段が 29 連勝最多連勝記録、30 年ぶりに更新・稀勢の里横綱昇進
2018	H30	10 月米軍横田基地にオスプレイ配備 築地市場が豊洲市場へ移転・テニスの大坂なおみが全米 OP 優勝
2019	H31 R1	皇太子徳仁親王 天皇に即位 アニメ制作会社「京都アニメーション」放火事件
2020	R2	新型コロナウイルス感染症が流行 JR 山手線駅「高輪ゲートウェイ駅」開業
2021	R3	第 32 回オリンピック競技大会（2020／東京） 東京 2020 パラリンピック競技大会
2022	R4	12 月松原ときわクラブ創立 50 周年 2 月 12 日 将棋の藤井聡太 4 冠(竜王, 王位, 棋聖, 叡王)が 渡辺明王将を破り 19 歳 6 ヶ月の最年少記録で「五冠」を取得 4 月 01 日 成人年齢を 18 歳に引き下げる改正民法が施行 5 月 15 日 沖縄返還 50 周年を迎える 素敵な未来へ続く

「 カラオケサークル紹介 」　保科 もゝ子 さん

昭和 63 年にカラオケ同好会が発足し今に活動が続けられています。

平成 8 年度から引き継がれている会計ノートがあります。１ヶ月 300 円の会費を徴収し１２～３名ほどが在籍しておりました。その当時はカラオケ機の使用料を月額 3,000 円払っていたようですが、その後は 1,500 円になったことがわかります。

その当時の活動はかなり活発で会館での練習の他、カラオケボックスで歌ったり、食事会や日帰り旅行等も実施されていたようです。これらの活動は現在も継続され、忘年会や新年会の食事会等行ったり、歌うことだけでなく色々な情報交換をしたりして楽しんでいます。

以前と違うことは、自治会館の二階に新しいカラオケ機器がセットされ、自由にナツメロ等が歌えるようになっていることです。松原ときわクラブで購入していただきましたので、昭和や平成の歌謡曲など曲数も増えました。役員や会員の皆様のお力添えには大変感謝致しております。みんなで元気な歌声を響かせ楽しい時間を過ごすことがボケ防止になると言っています。

コロナ感染症予防対策の中、活動は休止しておりましたが、ボツボツと第二、第四土曜日は活動を開始しています。どなたでも参加できますので伝統あるカラオケサークルに入って、一緒にパワーアップしませんか待っています。

「 輪投げサークルの紹介 」　令和四年一月　大野 榮三 さん

松原ときわクラブの輪投げに参加して約十年に成りますが、毎年人数が少なく成り今年度は一チームを作るのがやつとで大変でした。

年齢とともに、皆さんで楽しくスポーツをつづけていきたいので、クラブ員の参加をおまちしています。

「 詩吟サークルの紹介 」　根津 照代 さん

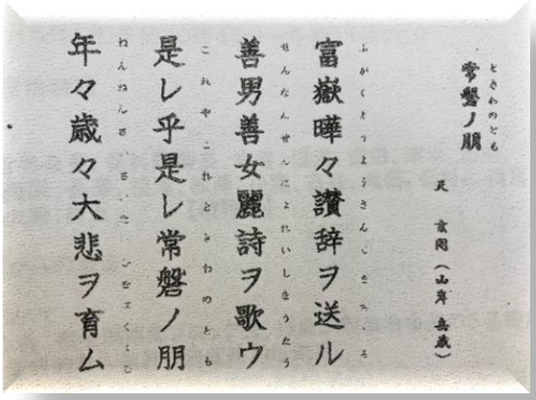
詩吟は 中国や日本の奥深い歴史があり勉強になります。
初心者大歓迎、歴史に興味のある方は、是非ご参加下さい。丁寧に御指導致します。
毎月三回　水曜日　１０時半～１２時

「 ペタンクサークルの紹介 」　田中 けさよ さん

ときわクラブには、 詩吟・ペタンク・輪投げ・カラオケと会員各自好きなクラブで活動されております。私がペタンクに入部したのは、ある人が「公園に出掛けてきませんか」と声を掛けて下さり何も知らず見学にきました。

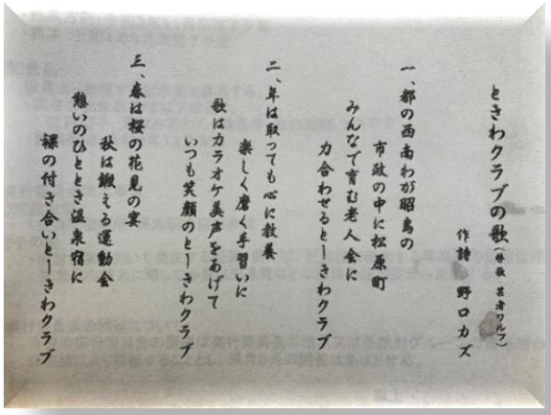
早速、教えて下さる方もおりペタンクの名称も見るのも初めての私でした。でも、皆さん楽しそうにしているのが感じられ、次回も行ってみたくなりました。小学生の頃より、運動神経が悪く運動会など大嫌いな私を変えてくれたのがペタンクです。

80 歳をとうに過ぎた私を外に誘い出してくれたペタンクです。物忘れが多くなり字も書けなくなった今、ペタンクの仲間は友人と思い有難くお付き合いさせてきいただいております。ペタンクに興味のある方、参加してみませんか？



ときわのとも
常盤ノ朋
天　言閑（山岸 長歳）

富嶽嘩々讃辞ヲ送ル
善男善女麗詩ヲ歌ウ
是レ乎是レ常盤ノ朋
年々歳々大悲ヲ育ム



ときわクラブの歌（ときわ まきワルツ）
作詩　野口カズ

一、都の西南わが昭島の
市政の中に松原町
みんなで育む老人会に
力合わせるとーきわクラブ

二、年は取っても心に教養
楽しく磨く手習いに
秋はカラオケ美声をあげて
いつも笑顔のとーきわクラブ

三、春は桜の花見の宴
秋は鍛える運動会
憩いのひととき温泉宿に
裸の付き合いとーきわクラブ

写真で綴る思い出

昭島市老連　松島と南三陸海岸みちのく春の旅　松島　S 60. 6 . 19.

昭島市老人クラブ連合会　昭和６３年６月１５日　於 奥琵琶湖パークウェイ

松 原 と き わ ク ラ ブ　　H10.6.29 湯田中温泉　ホテル 豊生

昭島市老人クラブ連合会　昭和６３年６月１６日　於 平安神宮

2008. 10. 10 ときわクラブバス旅行（スパ昭島）

会報より

「浪曲寸劇・ときわの石松」

「　口　上　」

これより芝居の粗筋をお伝え致します。

話は「ときわ一家」の皆様の繁栄と安全を祈願するため、一家を代表して石松という男が、奉納金三十両をもって四国の金比羅様にお参りしました。

ところが途中で行方不明になり５年過ぎても戻ってきません。「ときわ一家」は、皆今か、今かと首を長くして待っています。中には若い娘にだまされてどこかで暮らしているのではとか悪い噂が立つ中、今日突如あの有名な多摩川舟渡しに一人の旅人が現れました。

「多摩川流し船出の場」

芸者のお玉：柴崎節子・ときわの石松：小室博・関の留五郎：関口留吉

船頭：松本朗（舟は自作）・仕掛け操作：山岸信子・黒子：佐藤元賀・北村寿々子さん

ときわクラブ会報（１８７）

❖❖❖すいせんの花だより❖❖❖

平成２２年３月６日
会　長　松澤　五代子

☆　ほっとひといき・ティータイム：

夢違い観音（左）・普賢菩薩（右）

美しい観音の姿に魅せられて作りました。私の守り本尊（辰年）です。

右の方は大倉集古館の普賢菩薩を参考にしながら制作したもので、会報（１６３）でも紹介されました。

写真は、２月中旬に国立の画廊で開かれた仏像・仏画作品展での一枚です。

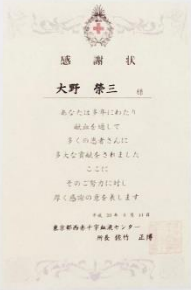
（2組　粟村　昌男）

☆　ほっとひといき・ティータイム：

《叙勲おめでとうございます》

４組菅井孝様は、警察官として４２年間職務に精励され、この春 瑞宝双光章を受賞されました。また、ご夫妻は皇居内の豊明殿にて天皇陛下に拝謁されました。

アイデアと行動力に富み、人望のあるお方ですから、方方から頼まれごとが多いと思います。どうか健康にお気をつけご活躍下さい。　（編 集 子）



感　謝　状

大野　榮三　様

あなたは多年にわたり
献血を通して
多くの患者さんに
多大な貢献をされました
ここに
その御芳志に対し
厚く感謝の意を表します

平成 22年 2月 11日
東京都西多摩赤十字血液センター
所長 根竹 正博

献血１００回

２２才のとき友人の怪我がきっかけで献血しました。それから約５０年間で献血１００回となり、赤十字社から感謝状をいただきました。

感謝状は健康なからだをくれた親にそのままさしあげるべきものと思っています。

（1組　大野　榮三）

☆　ほっとひといき・ティータイム：

お遍路さん

退職後にはじめた四国８８ヶ寺めぐりは、年内にもう一回出発しようと思っていますので最初の計画でした１０周を達成することになりそうです。そして今は１５周を新たな目標にかかげているところです。

多くの人々のご好意に助けられながら、心身の健康を高めさせていただけることが大きな魅力でしょうか。

体験ご希望の方はお知らせいただけたらと思います。是非ご一緒しませんか。

（4組　保科　紀一）

☆　ほっとひといき・ティータイム：

ステンドグラス　ランプ

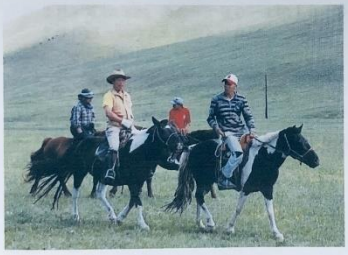
１０年ほど前から年に１個程度のペースでランプ作りを楽しんでおります。これは最近のもので高さが５０ｃｍ、幅が４０ｃｍあります。

完成したときの喜びは大きいのですが、仲間とおしゃべりしながら作る過程が私にとっては最大の魅力になっています。

ご希望がおありでしたら宮沢町におられる私の師匠をご紹介いたします。

（4組　保科　もゝ子）

―モンゴルに魅せられて―



モンゴル旅行は夏冬合わせ８回目になりました。

これは昨年の乗馬ハイキング中のものです。他の写真も見ていただける機会があればと思っているところです。

（撮影・丸岡 浩一 氏）

（1組　湯浅 雄相）

神輿

私が神輿制作に携わったのが 1990 年（平成 2 年）の夏、元自治会長の小澤智さんに声を掛けられ、宮崎さん、井川さんと福生市熊川にある石川大工棟梁の作業現場に足を運んだのが当時 50 歳の現職の時でした。

それから数か月が経ち欅本体の神輿が出来上がり本体飾り付けをするため、浅草の祭り専門問屋へ小澤さん達と出掛け装飾品道具一式（鳳凰、彫金、手綱、鈴、組紐、提灯等）を購入、それから彫金の飾り付け作業が始まり平成 3 年に神輿本体が完成しました。

祭事が始まる夏までには多くの御神輿担ぎ手の皆さんが楽しく安全に祭事が出来る様に、また皆様にお披露目される迄の道程が大変でした。

神輿本体を取付ける檜竿（五寸真角）4 本、檜丸太（直径五寸）2 本をボルト締め、裸神輿を化粧する飾り付け、鳳凰から手綱を組み竿につける工程が誰一人知る由もないことから様々な苦労から得た知識の連続で現在の神輿飾り付けとなりました。（全体で 400kg 強）

裸神輿を自治会館に収納し祭事の度に携わって飾り付けをしていただいている方として、松原ときわクラブ、1 組の古谷雅道さん、3 組の秋永謙さんがおられました。

コロナ感染症拡大で祭事が中止になる前年に神輿の飾り付け作業工程全般を写真に収め、平成 19 年の神輿飾り付けが完成するに至りました。それに関して、万燈の台座から新しく制作していただいた 1 組の渡辺正男さん、真竹を切る時季から始まり竹細工と趣味の領域を超える腕前であることから、これを手本に松原ときわクラブの青年部の皆様と拝島駅前自治会皆様の活躍活動の力をお借りする事を望むところです。（文：菅井孝）

行事

未来からのメッセージ

2022.4.04　令和３年度の会計監査

長寿

『 松原ときわクラブ四季の思い出 』　水谷 義広 さん

春のことです　思い出してごらん あんなこと こんなこと ありました
桜の下で　お弁当食べて　みんなで歩いた　昭和公園

夏のことです　思い出してごらん あんなこと こんなこと ありました
焼ソバ焼いて　お団子売って　ビールを飲んだ　夏祭

秋のことです　思い出してごらん あんなこと こんなこと ありました
黄色ハチマキ　玉入れ　綱引き　みんなで応援　運動会

冬のことです　思い出してごらん あんなこと こんなこと ありました
寒い夜空に　大声出して　拍子木叩いた　火の用心（パトロール）

いつものように 春夏秋冬 四季の思い出 くちずさみ
静かな河川敷の土手の遊歩道を歩いてる

視界には　はるか前方にそびえる奥多摩の山々 近くをゆるやかに水が流れる多摩川 その岸辺の流れの穏やかな たまり場の水面（みなも）に白サギが一羽 じっと立止っている。

羽を休めているのか……
魚を獲っているのか……

その時 頭上でかすかな爆音を聞いた 見上げると米粒ほどの飛行機が一機 西方に向かっている。
旅客機の航空路なのだろう 大空には今日も白い雲が真綿のように広がっている。
雲なければ青ばかり　いつも青空背負って（あおぞらしょって）下見てる空 何を見ているのだろう……
そうだ きっと きっと　残りの人生を元気に楽しんで頑張っているみんな(会員)を 笑顔で見ているのだろうと思った。

小澤 正光 さん

この度は松原ときわクラブの創立５０周年誠におめでとうございます。
ここまで来られたのも、先人の方々及び皆様の努力の賜物だと思います。私の亡き父母も大変お世話になりありがとうございました。二人ともカラオケが好きで毎週大変楽しみにしておりました。

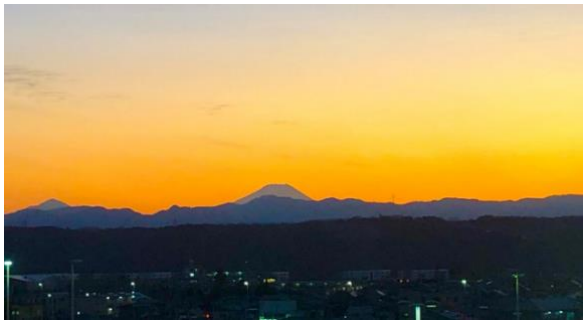
50 年というのは流石に長くて色々な出来事がありました。札幌・長野の冬季オリンピック、日中国交正常化、平成に入りバブルの崩壊、巨大台風、数々の震災、特に神戸の震災や東日本大震災には驚きました。平成には自然災害が多かったですね。令和に入ってからは新型コロナウイルスです。皆様の生活様式がすっかり変わってしまいました。でもその中で東京オリンピック、パラリンピックが出来たことは意義深いことだと思います。

拝島駅前でも新しい駅舎が出来、駅前広場、地下駐輪場、電線の地中化が完成しすっかりきれいになりました。ときわクラブの活動も自粛を余儀なくされ、様々な行事が中止、延期になりました。大変残念です。でも少しの辛抱だと思います。オミクロン株で終わりにしてほしいですね。それにしてもときわクラブの活動の多さはすごいですね、夏祭りや運動会への参加、交通安全、防犯活動、俳句、ペタンク、グラウンドゴルフ、輪投げ等大変忙しいですね。皆様のバイタリティーには脱帽です。私も今はカラオケでお世話になっておりますが、おいおい色んな行事に参加出来ればと思って居ります。

ときわクラブとの初めての出会いは元会長の加藤さん（加藤元自治会長の父上）と夏祭りでカラオケ大会の審査員をした時です。私が父の歌に低い点を付けると「それはちょっときびしすぎるじゃないか」と言われた事が懐かしく思い出されます。とても気さくな良い方でした。
これからもときわクラブのなお一層の発展を願っております。

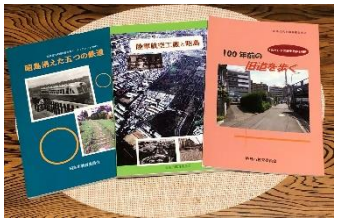
『 五十年誌に思う 』　　清水 君子 さん

一口に五十年と考えると過ぎし日はあっという間であったと思う。
駅前の開発にともない、近くにあった、マーケット商店街が次々に移転して姿を消した。駅からの流れの人々が買物をして家路に帰る様子が見られなくなり、道路が広がり車で買物に行く大きな店となり、道は通勤の人々が朝夕に足早く歩く人達に変わって行った。
我家から見える、夕焼け空に富士山など山々がつらなり、八十年近く昭島市に住んで変らぬ自然の美しさに感動する今日この頃です。
駅前老人会も同様ばんざいである。
歴代の役員、会員の皆さんの努力のおかげで長く続いていると思っております。
本当にありがとうございます。



伊藤 寛 さん （伊藤書店）

松原ときわクラブ創立５０周年おめでとうございます。
拝島駅前自治会総務部長として自治会関連団体との連絡を担当しております。また自治会館の貸室管理もしており松原ときわクラブの皆様とは親しくさせていただいております。そして、松原ときわクラブの皆様には自治会行事にはいつも多大なご協力をいただいており改めて感謝申し上げます。



コロナ禍の中、自治会では行事はおろか役員会もろくに開催できないでおりますが、松原ときわクラブでは拝島駅前自治会館において、対策を講じた上でコンスタントに役員会が開催され、諸行事も縮小して行われております。なお、私もお仲間に加えさせていただいております。これからもよろしくお願いいたします。

『 夏祭りのひととき 』　岩崎 百合子 さん

ときわクラブでのダンゴ売り、お茶の接待やライブステージで大正琴を奏でさせて頂きました。粟村さんのお母さんもご一緒でしたが、残念ながら写っていません。
保育園や様々な所に慰問に行き、お友達になり楽しいひとときを過ごさせて頂き感謝でした。

『 おやじの楽園 』　鈴木 耕一 さん

今、月の半分は古里那須の実家で過ごしている。

父が亡くなってから十年近く空き家になっていた。そのため畳は温気でぶかぶかになり、フロアーも一部抜け落ちて危険な有様だった。外壁は色あせ、トタン屋根のペンキも剥がれ、棟板金も浮いて飛びそうな状態だった。幸にもどの部屋にも雨漏れは無かった。構造的には土台も梁も腐食も無くしっかりしている。リフォーム会社で働いて来たので、少しずつ床材等の資材を運び入れて自分でたたくのをずっと楽しみにしていた。ようやく昨年六十七歳で退職してやり始めた。

素人がやることなので、床版のスキ間もあるし、塗り壁のムラも出るがやり始めるとすごく楽しい。時間もたっぷりある。なんとか半年かけて内装の床張り、塗り壁等を終わらせた。早々、自分の部屋へ五十年ぶりにベッドを置いてみた。北西の角部屋で窓から雑木林のみどりと、鳥のさえずり、虫も入って来るが居心地の良い、お気に入りの場所だ。ひと仕事終ったら揺り椅子でコーヒー飲みながら文庫本（今野敏の小説）を読みふけり、夜はステレオでジェットストリームを聞きながら夢の中へ入って行く。明日は庭の草むしりと雑木林の下草刈り。後は昼寝か。やることはいっぱいあり退屈しない。

いつの間にか、拝島の自宅と陽気な妻のことは忘れていた。

むこうも同じ様なもんで、好き勝手にやっている。今があるのは両親のおかげ。

第二の人生、好きにやらせて頂きます。

でも冬は寒いし、雪は積るし、やっぱり拝島がいちばんいいな。

【OBOG 枠】　『 詩吟のルーツについて 』　山岸 信子 さん

［山岸さんから体調が悪く代書を依頼され、保科編集委員が聞き書きを行いました］

お誕生会の度に歌われている詩吟のルーツについて、山岸信子さんに伺いました。

昔は高い建物もなく見晴らしがよかったので山岸さんの自宅からは富士山がとても綺麗に見えたそうです。

ある時、信州からお泊まりに来たお客様が富士山の方向を向いて朝晩手を合わせて「ありがたい ありがたい」と拝んでお参いりしていたそうです。

その姿をご覧になったご主人（兵蔵さん）は、さすが日本一の富士山、人の心を感動させ崇められる存在なのだと思い、漢詩を作ったのだそうです。兵蔵さんは長野県の出身（長野からは富士山は立地条件によりあまり見えないとのことです）長野は昔から漢詩の文化が根付いており、みんなで詩吟を詠じることはよく行われていたのだそうです。その漢詩を今もうたって下さっているとのこと大変感謝しています。

「ありがたいことです。」とおっしゃっていました。

『 新しいサークル部の誕生 』　　松本 朗 さん

松原ときわクラブ創立５０周年おめでとうございます。創立５０周年を迎え記念誌の発行に一言との事で、クラブの役員当時、新しいサークル部が誕生したときの思い出についてのべさせて頂きます。

当時（2009 年）も当クラブの各々のサークル部の活動は盛んでした。特にスポーツ系は輪投げ、グランドゴルフのサークル部は活発で自分も先輩から教えてもらいました。

新しいスポーツ、ペタンクについてクラブの役員会で議題に取り上げられたのは、2010 年 10 月の会合だったと思います。市老連本部スポーツ部が推薦しているスポーツ、ペタンクをときわクラブでも体験の賛否について協議、検討の結果体験することに決まりました。

本部から講師が派遣されてきたのは 12 月初めで、この日参加した会員は、役員の他前以て会からの知らせでペタンクに関心のある人も参加しました。初めにペタンク競技の概要の説明です。競技は、１チーム３名で編成、始めにどちらかのチームが標的球（ビュット）を投げてその球を目標に両チームが金属製のボールを投げて、全て投げ終えたら判定し、どちらのボールがビュットに最も近いかを測定、最も近いチームのボールを数え得点とするので、ビュット投入から得点を数えきるまでメーヌ（１メーヌ）といい、実際のペタンク競技は何メーヌを行うと決めてするとの事です。

本番の体験は、講師からボールの握り方、投げ方を教わり目標のビュットをめがけボールを投げたり転がしたりが、初めは思う様に行かず悪戦苦闘で、参加した皆さんも同様でしたが練習を繰り返し馴れて来たらようやくボールが近くに行くようになり、ペタンクの実感を体験しました。皆さんの感想もペタンクは思っていた以上に誰にでも出来て馴染みやすいスポーツとの事です。その後も練習を行い皆さんとペタンクについて認識を共有しました。

そして 2011 年 3 月の役員会において、ときわクラブではペタンククラブではペタンク競技を採用するしかないかの賛否を協議、全員賛同で採用に決まり「松原ときわクラブペタンクサークル部」が誕生しました。

又サークル部の担当に自分が指名されて、どうまとめて行くのか戸惑いましたがとにかくペタンクサークル部がスタートしました。

市老連ペタンク大会に 3 チームが初出場して 1 チームが 2 位に入賞しました。更に 6 月には東老連第 3 ブロック親善交流ペタンク大会に 1 チーム出場健闘しました。又 11 月には東老連ペタンク大会に 1 チームが出場しました。ペタンク競技歴のないサークル部が大きな大会に出場できた事は、大変貴重な経験と体験になりました。

『 思い出の記 』　石川 隆俊 さん

松原ときわクラブのメンバーに加えていただいておりますが、ゆっくりとお話する機会がないまま過ぎております。私自身、この地の生まれで母は石川酒造の娘、父は外科医で小さな病院を開いておりました。父から「後は継がないで自由にするよう」に言われましたが、同じ医学の道に入りました。
幸い優れた先輩や仲間に恵まれて、当時『癌研究のメッカ』癌研究所で勉強しました。例えば皆様らご承知の方もおられるかもしれませんが、魚や肉の焦げ目に発癌性がある事を証明したのは私です。
その後、母校で指導を続け好きな道を歩いてこの歳までやってきました。しかし、人生には思いがけぬ出来事もありました。いつか皆様とお目にかかり「穴があったら入りたい」ような思い出話をきいて頂きたいと思っております。

『 創立５０周年 おめでとうございます 』　保科 もゝ子 さん

昭和 47 年というと沖縄が日本に返還された年、学生時代はパスポートを持っての旅行でした。
この年、地名だけは知っていましたが昭島・拝島に住所を移すという人生の節目の時となりました。あれからもう 50 年、光陰矢の如しと言いますが時が立つのは本当に早いものですね。松原ときわクラブが発足した記念すべき年だと思いますと何か不思議な縁と親しみ、歴史の流れを感じます。
私は、村上会長さんに進められ入会しましたが、その頃はまだまだ一緒に活動するという気持ちには至りませんでした。退職後民生児童委員を引き受けたのですが、私自身余りにも地域とのかかわりが少なかったことに気付きました。夫はここで育ち、自治会やときわ会との継がり地域に顔出ししていたのですが……。そこでまず、お誕生会に参加することから始めました。結構顔見知りの方がいらして「ほっ」と安心できる場となり、色々なお話しをすることが出来るようになりました。また 皆さんの細かい情報やつながりからありがたいことに民生児童委員の活動にも役立たせていただきました。地域の方々との交流が広くなり本当に感謝しております。

元気な頃は ぶらり旅など大好きで各地に夫と旅行しましたが体調を崩してからは旅行も一担中止、その後は市老連などの旅行が楽しみになりました。他のクラブの方々とも友達となり「またご一緒に旅行に行きましょう」と声を掛けていただくことも多くなり、人とつながりやご縁を感じる今日この頃です。映画会や歌声喫茶、作品展、カラオケ発表会等積極的に参加したいと心がけていますが、健康が何よりも大事ですので無理せず参加させていただき、地域の一員でありたいと思っています。

『 駅前の居酒屋 』　湯淺 雄相 さん

昭和３０，４０年代前半頃の拝島駅は木造で青梅線はチョコレート色の電車で五日市線はディーゼルカーで朝夕のラッシュ時には SL が客車を引いており、八高線は SL が走っている時代でした、もちろん西武線は未だありません。

改札口は１か所で五日市線ホームに直結していました、改札口を出るとすぐ右側に酒屋さんがあり、その店は奥で立ち飲みができました、袋入りの塩豆か裂きイカをつまみにコップ酒を飲みながら乗り換えの時間を過ごすのが拝島の居酒屋との付き合いのはじめでした。

その酒屋さんの裏に 10 人も入れば満員になるカウンターだけの居酒屋があり五日市線、八高線の客のたまり場になっていて、種々な職業のお客さんがいました。公務員、機械設計会社の社長、材木問屋の社員、土木建築関係の設計技士、松原工業団地の会社に勤める方々等。名物のもつ炒めをつまみに 2 級の枡酒を飲み、顔なじみとなった常連のお客同士で会話がはずみました。そこで聞く話は商業高校を出て鉄工会社に就職し、その世界しか知らない私にはまったく新鮮で違う知識を得ることができました。その中には拝島駅の職員もいて、ある時電車に忘れ物をして奥多摩駅まで取りに行くのが面倒なので、その方にお願いし取り寄せてもらったこともありました（50 年以上昔　時効にして下さい。）会計を済ませておけば五日市線の発車ベルが聞こえてから最後の一口を飲み干して駆け出せば間に合いました。

店の親父が釣り好きで自然にグループが出来、あちこちの川へ釣りに行ったこともありました。そんな仲間の中にときわクラブの前会長の保科さんがいました、40 年も経ってから同じ地域に住み、お付き合いをさせていただくとは不思議なご縁を感じます。

当時の飲み仲間も定年となり、故人となった方も多いようです、駅前整備でその店もなくなり元気だったころはボトルキープした店も 10 か所くらいありましたが、今は 4 か所になりました。

『 私の松原ときわクラブ デビュー 』　古谷 雅道 さん

私が、松原ときわクラブに入会したのは当時会長の村上さんからお誘いを受けてのことで入会はしたものの、行事・等の参加はしたことがなく数年が過ぎました。

ある日のことでした。

会長の菅井さんより松原ときわクラブが来年 50 周年を迎えるにあたって記念行事を行う予定なので、手伝ってほしいとのお誘いを頂きこの事業に参加することになりました。

その後、役員会議において記念行事の概要が決まり、私は記念誌作成のお手伝いをすることになりました。初めに記念誌作成の概要をきめて資料作成、資料収集、寄稿文の依頼、等を進めて、ある時には記念誌作成メンバーと昭島エンシスにて地域の出来事、歴史について調査も行いました。

資料の中には色々な写真があり、その当時の思い出話に花が咲き作業が脱線することが多々ありました。また年表を作成して50年間の出来事をまとめてみると、松原ときわクラブの50年の歴史を感じとることができました。

年を重ねると一年が早いといいますが、それは「ときめき」が少なくなったから、一年を振り返ると記憶に残っていることが少ないので早く感じるのだそうです。この記念誌を読んで少しでも「ときめき」を感じていただけたら幸いです。

この記念誌作成のお手伝いが私の松原ときわクラブのデビューになりました。これからも、松原ときわクラブの方々や地域の方たちと交流を深めていきたいと思います。

『 昭和47年(1972)と私 』　　丸岡 浩一 さん

松原ときわクラブ発足50年おめでとうございます。

先輩たちは、半世紀の凄い日本を拝島から見てこられたのですね。私の50年前の出来事を現時点で振り返ると、次の２つを挙げる事ができます。

１．1972年2月24日、私は18歳の誕生日を熊本で迎えていました。

この日は、日本国とモンゴル国**（当時は社会主義の「モンゴル人民共和国」1992年に民主主義の「モンゴル国」に変わります）**と外交関係が樹立した日で、今年は50周年を迎え、両国は記念すべき年になりました。

30年後の2001年からモンゴル国との民間交流活動を始め、42年後の2014年には、モンゴル国大統領より叙勲（ナイラムダル友好勲章）など、知る由も有りませんでした。

ナイラムダル友好勲章

２．1972年3月27日、社会人になりました。

コンピュータの仕組みが知りたくて、東芝の技術会社である東芝エンジニアリング（株）入社。寮は分倍河原で、勤務は東芝の汎用コンピュータ工場である東芝青梅工場、通勤車両は四両編成の南武線と青梅線を使いました。床がコールタールの匂いがプンプンするフローリング、通路中心に真鍮の柱が立っている外観木製の車両でした。当時は、拝島駅は通過だけで一度も下車した事が有りませんでした。

初任給¥33,000で、東芝府中工場三億円事件のおかげで退職する迄の44年間、現金支給の体験は無く全て銀行振込でした。この手で、一度は現金を受け取りたかった！！

社会人になって20年後の1991年に拝島に移住。即「拝島駅前自治会」会員になり、数年前に「松原ときわクラブ」も入会、この場に居ることに感謝します。

【OBOG 枠】 『 私と拝島駅前ときわ会 』　青山 秀雄 さん

私が初めて拝島に来たのは 1967 年、今から 55 年前。国鉄本社で入社式。八王子から拝島駅へ、到着したら蒸気機関車が待機し省線電車［国鉄では無く、もと鉄道省や運輸省の管理に属した電車およびその路線の通称］の払下げ、かりんとう色が青梅線と五日市線。ダダ広い構内、線路には蒸気機関車の石炭ガラ。改札の直近に交番、あまりにも狭い駅前広場に驚き、何と「辺境な地」が第一印象だった。田舎茨城から憧れた都会東京とは大違い。

一ヵ月我慢し無理なら田舎に帰ろうと真剣に考えた事、若さ故の未熟さだったと自省。職場は保線区で戦争体験者や経験者ばかりで朝は出勤する先輩達のお茶入れやトイレの掃除、夕方は夜動の人たちの準備や夜食の買い物で街へ。特に通った「拝島ストア」、国鉄は当時これが当たり前。私自身は寮から通い昼は毎日の様に駅前周辺の食堂へ、買い物や昼食時に世間話など顔見知りになり人の良さ、まちの温かさを感じる様になりその思いは日に日に強くなって行った。

結婚し数ある国鉄宿舎の中で選んだのは拝島の宿舎［青○］、日本一長かった倉庫前踏切［赤○］**（日本一長い踏切は約 130m「市道北 143 号踏切」で 2009 年 5 月 31 日に閉鎖）**の直近で近くに喫茶店ポエムがあった。

入居と同時に自治会に加入、拝島を第 2 のふるさとに選んだのは勤めながら拝島駅前の皆さんとの出会い、人間関係が出来たからと振り返っています。自治会やこども会の役員になり、夏まつり等色々と経験させて頂きました。ときわ会の皆さんは自治会の延長線でいつも一諸。特に経験豊かなときわ会の先輩は常に指導的役割を担っていました。独自活動のカラオケ、ゲートボールや輪投げ、ペタンク等に私もとび入りで楽しませて頂きました。

今、その多くの人が他界され淋しい限り。思えば多くの皆さんの声や熱い思いが、今の新しい拝島駅や自由通路、南口駅前周辺整備やまちづくりが出来たと思っています。

最後に、結成から 50 年の歴史あるときわ会の皆様の健康と会の発展を祈念して思い出といたします。地域の中で老若男女、子ども、生れ育ちは違えども拝島駅前に住む 1 人ひとりが仲間として広い心で受け入れ地域づくりに貢献され、その活動が脈々と、ときわ会、自治会に受け継がれています。昭島市の中でも私は模範と自慢しています。

写真中の ※印 について

西武ハイツ建設前の原っぱで、昼休みには「土筆（つくし）」を採って食べたりしていました。

青山様からお預かりした原稿は、熱い思いが綴られた 3200 字余りのものでした。ご本人の了解を得て、記念誌紙面の都合で大幅に割愛して編集いたしました。ありがとうございました。（編集担当）

出典：Google マップ https://www.map-navi.com/line/station/1131506.html

地図ナビ 昔の航空写真（※1974 年～1978 年撮影）より

第16回
東京商店街
グランプリ

優秀賞

拝島ハイボール事業
拝島駅前商店会

拝島駅前商店会の
拝島ハイボール事業が 2021 年
第１６回東京商店街グランプリ
優秀賞を受賞しました。

謝辞

本誌発行にあたり多くの方から資料提供や情報を頂きありがとうございました。
ここにお礼申し上げます。

写真協力：松澤様、粟村様、保科様、岩崎様、小室様、長澤様、湯淺様、菅井様、
古谷様、丸岡様

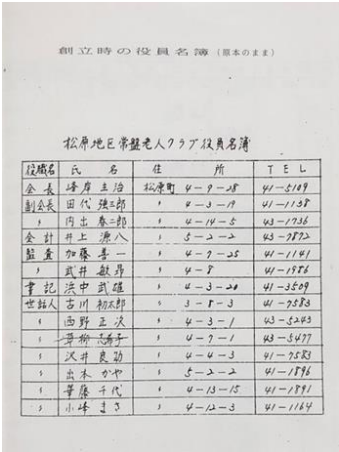
資料協力：松澤様、村上様、昭島市民図書館御中

参考文献：広報あきしま２（昭和 48 年１月～）昭島市企画部
広報あきしま３（昭和 55 年１月～）昭島市企画部
ぶらり昭島　昭島市民図書館所蔵
まちづくり調査・研究報告書　昭島市民図書館所蔵
目で見る立川・昭島の百年　昭島市民図書館所蔵
昭島市民秘蔵写真集　昭島市民図書館所蔵
保存版 立川・昭島今昔写真帖　昭島市民図書館所蔵
年表おらが町拝島駅前　昭島市民図書館所蔵
Google マップ

発足当時の役員（敬称略）

松原地区常盤老人クラブ役員名簿

役職名	氏　名
会長	峰岸主治
副会長	田代強三郎、内出春二郎
会計	井上源八
監査	加藤善一、武井敏昂
書記	浜中武雄
世話人	古川初太郎、西野正次、~~苺柳志布子、~~ 沢井良功、出本かや、華藤千代、 小峰まさ


創立時の役員名簿（原本のまま）

松原地区常盤老人クラブ役員名簿

役職名	氏　名	住　所	TEL
会長	峰岸主治	松原町 4－9－18	41－5109
副会長	田代強三郎	〃 4－3－19	41－1138
〃	内出春二郎	〃 4－14－5	43－1736
会計	井上源八	〃 5－2－2	43－2872
監査	加藤善一	〃 4－7－25	41－1141
〃	武井敏昂	〃 4－8	41－1986
書記	浜中武雄	〃 4－3－20	41－3509
世話人	古川初太郎	〃 3－8－3	41－2583
〃	西野正次	〃 4－3－1	43－5243
〃	~~苺柳志布子~~	〃 4－7－1	43－5477
〃	沢井良功	〃 4－4－3	41－2583
〃	出本かや	〃 5－2－2	41－1896
〃	華藤千代	〃 4－13－15	41－1891
〃	小峰まさ	〃 4－12－3	41－1164

令和４年（2022）会員の皆様（敬称略）　　令和４年(2022) ４月１日付［66 名］

１組

松澤五代子、松本朗、大野榮三、大野洋子、網野和子、高橋ユリ子、荒木秀美
武田晴海、丹下保男、丹下悦子、湯淺雄相、渡辺正男、高橋実、吉野恵子
鈴木シズ子、市川正子、古谷雅道、丸岡浩一、相原正実、鈴木イソ子
新田紘一、新田重子、平山泰生、山崎邦彦　（２４名）

２組

村上政美、村上頼子、粟村昌男、小室博、清水君子、水谷義広、館石恵子
中田恭子、坂口洋光、秋永謙、永野弘志　（１１名）

３組

小林昭父、高橋邦男、田中けさよ、藤原毅子、武井邦之、武井康子、二宮優
梅宮次男、小林勉、菊地裕信、鈴木耕一、加藤久之、河村鈴子、神田幸男
（１４名）

４組

石川隆俊、石川章子、保科紀一、保科もゝ子、菅井孝、大久保初寿、長澤多喜夫
久保田裕三　（８名）

５組

岩崎百合子、金井英子、森田米三郎、根津照代、樽本華枝、竹花秀子、岡部恒男
伊藤寛、小澤正光　（９名）

５０周年記念実行委員　（敬称略、複数名は先頭がリーダ）

式典実行委員長　：菅井孝（松原ときわクラブ会長）
式典全般統括　：保科紀一、小室博、松澤五代子
式典文書取り纏め広報：梅宮次男
式典料理取り纏め　：藤原毅子、田中けさよ、清水君子
式典記念品担当　：田中けさよ、長澤多喜夫、根津照代、武田晴海
式典委員会会計　：水谷義広
記念誌編集　：湯淺雄相、保科もゝ子、古谷雅道、丸岡浩一

編集後記　記載内容と現状に差異があるのは、投稿時期が本誌発行 10 か月前であることによるものです。

湯淺編集長：当初の会員はすべて明治生まれ、今は全員が昭和生まれになりました、時の移ろいを感じます。会報も当初から毎月発行されていました、その他残されている資料の初期はガリ版刷り、その後手書きで湿式複写機（リコピー）、先輩方のご苦労がしのばれます。編集にあたり少しでも多くの会員に紙面に参加していただき、楽しく読んでもらえる様にと考えていましたが、力不足で思うに任せませんでした。末尾になりましたが原稿のご協力頂いた方写真その他資料ご提供いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

保科委員：「なんで私が編集委員？」という事から出発しました。デジタル時代には全く対応していない私でしたが何とか皆様の仲間に加えていただきやり通すことが出来ました。ときわ会の歴史や駅前地区の様子や流れを伺い、この地域のことが今まで以上に知ることが出来たのが大きな収穫でした。人は話し言葉や書き言葉を持ち五感を（六感もある人もいる）働かせ知的財産をフル活用しているのですね。皆様色々助けて下さって有難うございました。楽しい活動になりました。

古谷委員：記念作成の作業で松原ときわクラブの営みを振り返り、役員及び会員の方々の協力で今日があることを実感いたしました。50 年の歩みには楽しい旅行やサークル活動の写真が沢山ありましたね。
これからもこのクラブが末永く続くことを願っております。記念誌作成のお手伝いが出来たことに感謝いたします。

丸岡委員：活動がその時代に沿って運営され改善され継続され、その記録がほぼ残っており素晴らしいと思いました。私の担当範囲は、古いガリ版刷り資料や印画紙写真等を電子化して、記念誌に取込み編集、全体体裁を整える作業担当でした。この作業で様々な資料と出会い 50 年の流れを感じることが出来で感謝しています。楽しかった！！

表紙文字　：　保科　もゝ子
表紙写真　：　菅井　孝
［多摩川の初日の出 2022.1.01 07:05 撮影］

令和４年１１月１０日発行
発行：松原ときわクラブ５０周年記念実行委員会
印刷：河辺印刷株式会社　TEL：042-541-3850

←自治連拝島駅前自治会のホームページに接続されます。
「松原ときわクラブ」の情報があり見られます。

2022. 11